

第68回 石川県児童・生徒科学作品コンクール

優 秀 作 品 展 2024

石川県教員総合研修センター会場

令和6年10月26日(土) 12:00～15:30

金 沢 会 場

[金沢市長土堀青少年交流センター]

令和6年11月9日(土)～11月17日(日)

9:30～17:00(入場は16:30まで)

※ただし、11月11日(月)は休館日のため除く

小 松 会 場

[サイエンスヒルズこまつ]

令和6年11月29日(金)～12月1日(日)

9:30～17:00

河 北 会 場

[津幡町文化会館「シグナス」]

令和6年12月7日(土)～12月8日(日)

10:00～16:00

展示会に関する最新情報は、石川県教員総合研修センターのWebページに記載しています。

主 催 石川県科学教育振興委員会

共 催 石川県教育委員会 石川県科学教育振興会

後 援 石川県理科教育研究協議会 読売新聞北陸支社

入 賞 作 品 一 覧 表

◆ 石 川 県 知 事 賞

小学校の部

◎ まだある子葉の知らないこと 金沢市立三馬小学校 6年 城見 力希

中学校の部

◎ もしも私が金沢城穴太衆の棟梁だったら 金沢大学人間社会学域 1年 中島 芽生
～城郭石垣の地震時安定性に関する実験的研究～ 学校教育学類附属中学校

◆ 石 川 県 議 会 議 長 賞

小学校の部

◎ しぶ柿があまくなるひみつ 金沢市立明成小学校 4年 荒木 陽
～タンニン変身のわけ～ 2年目

中学校の部

◎ スイカのふしぎな「ひげすじ」 Part 6 金沢市立高尾台中学校 2年 高山 穰佑
～「ひげすじ」基準で紫外線対策からフードロスまで～

◆ 石 川 県 教 育 委 員 会 賞

小学校の部

◎ おいしくしたい！わたしのお茶 金沢市立押野小学校 5年 田中 心陽
～緑茶と加賀棒ほうじ茶のいれ方研究～

中学校の部

◎ 地震に強い7階の建物とは Part 7 金沢市立兼六中学校 3年 宮野 蒔大

◆ 石 川 県 科 学 教 育 振 興 会 長 賞

小学校の部

◎ にほんで1つだけの くるまがはしれるすなはまは 金沢市立浅野町小学校 1年 米澤 志織
なにがスペシャルなの？

中学校の部

○ ビタミンC最強献立を作ろう うがい薬を用いたビタミンCの実験 金沢大学人間社会学域 1年 福永 千紘
学校教育学類附属中学校

※ 小学校の部における◎印の作品は、県代表として第61回全国児童才能開発コンテスト 科学部門に出品する。
中学校・高等学校の部における◎印の作品は、日本学生科学賞石川県審査の最優秀作品であり、県代表として第68回日本学生科学賞中央審査に出品する。中学校・高等学校の部における○印の作品は、日本学生科学賞石川県審査の優秀作品である。

◆ 優 秀 賞

小学校の部

アイスのスプーン タケコプターであそぼう！	加賀市立山代小学校	1年	宮下	すず
ふっくらおいしいホットケーキをつくりたい！！	金沢市立米泉小学校	1年	竹治	泰駿
たんぽぽのわたげ ーどんなじょうけんだとめが出るかなー	金沢市立小立野小学校	2年	由水	桃華
家にアリのぎょうれつができる 때가雨なのはなぜ？	金沢市立富樫小学校	2年	友安	哲平
音のふしぎ ～声で広がるしんどうの世界～	金沢市立朝霧台小学校	3年	武田	紗夜
かみの毛のふしぎ かみの毛をきれいにするためにはどうするの？？	かほく市立高松小学校	3年	圓山	耀也
みその大移動！ ～おそろべし対流のパワー～	小松市立芦城小学校	4年	越田	修矢
あさがおの研究 パート4 ～成長と温度の関係～	金沢市立森本小学校	4年	吉川	華音
雑草パワーを生かして！！ ＝道ばたの雑草から紙を作るために＝（パート1）	金沢市立朝霧台小学校	4年	西村	愛莉
カナヘビ観さつ日記	珠洲市立正院小学校	4年	西	こはる
糸電話の研究 ～糸を変えるとどうなる？～	加賀市立作見小学校	5年	板東	咲和花
私の推しの日焼け止め	金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属小学校	5年	矢崎	和合
くうきのながれ3 ～みえちゃった空気～	加賀市立山中小学校	6年 3年	南川	縁 徳
おじぎするカイワレダイコン ～光屈性の秘密を探れ！～	小松市立芦城小学校	6年	越田	梨代
2年かけてようやく分かった！！ これ、宙に浮いているの？テンセグリティ構造が成り立つ理由	金沢市立押野小学校	6年	片桐	瞭汰

中学校の部

○ しずくmusic	加賀市立錦城中学校	1年	松浦	颯大
○「解凍プレートは本当に速く解凍させるのか？」	金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属中学校	1年	関	壮太
○ 巣と獲物の認識方法から考えるクサグモの狩り	金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属中学校	1年	小野	遥紀
○ アサガオの研究8年目 花粉管の伸長と人工授粉の受精率と種子数	金沢市立鳴和中学校	2年	寺山	貴大
○ サイダーは本当に貝殻を溶かすか？	七尾市立中島中学校	3年	宮田	健豊

◆ 優 良 賞

小学校の部

ぼくのいえにはなにが生えている？	小松市立符津小学校	1 年	平野 朝陽
ふしぎいっぱい きれいなピカピカのなぞたんけん	金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属小学校	1 年	川田 唯愛
びっくり!! かみはつよいぞ	かほく市立高松小学校	1 年	平野 結葵
こんなにつよいぞ! ぼくのカブトムシ ～カブとカブ太のちからくらべ～	羽咋市立粟ノ保小学校	1 年	小網丈太郎
あさがおのひみつ	珠洲市立正院小学校	1 年	皆口 奏子
最強の紙ひこうきはどれだ？	加賀市立片山津小学校	2 年	上野 聡仁
ブラックライトで光る生きもの	白山市立松任小学校	2 年	室賀 創太
氷室まんじゅうの歴史と氷のふしぎ ～ニンジャアイスをつくる! の巻～ Part 1	野々市市立野々市小学校	2 年	西川 開登
いちごのけんきゅう Part 2 ～あまいちごを育ててみようマイエンザとコンパニオンプランツの力～	金沢市立泉小学校	2 年	石川 寛叡
もっと さいきょうぶんぶんごまのけんきゅう	金沢市立泉野小学校	2 年	杉本尚央介
いろいろなボールのはずみ方	かほく市立大海小学校	2 年	金田 来工
ミニトマトのそだて方をかえてくらべたよ	羽咋市立羽咋小学校	2 年	北 結衣
カマキリ そだてて・しらべてわかったこと	七尾市立田鶴浜小学校	2 年	圓山 煌大
新聞しの すいこみパワーは すごいぞ!	七尾市立天神山小学校	2 年	中村 咲里
チョウはどのように育つのか	加賀市立作見小学校	3 年 3 年	永井 優杏 永井 心緒
ふせんの落ち方 ～らせんじょうに落とすには?～	能美市立辰口中央小学校	3 年	上野 權
あわ アワ AWA	白山市立北陽小学校	3 年	田村 柚奈
アゲハのさなぎの色は場所によってかわるのか	白山市立広陽小学校	3 年	魚住 惟人
スーッと動く 味そ汁のひみつ	金沢市立大徳小学校	3 年	田嶋 花帆
水の通り道をさがせ!!	金沢市立戸板小学校	3 年	瀬川 瑞葵
植物の力! 虫よけ王せん手けん	金沢市立長坂台小学校	3 年	丹尾かほり
ブルーモーメントの謎 ～温度で花の色が変わる!?～	加賀市立動橋小学校	4 年	町田 奨悟
あま～いミニトマトを育てたい! Part 3 ～太陽の光と塩のパワーってすごい!?～	小松市立稚松小学校	4 年	梶井 希和
理想のパラシュート	能美市立辰口中央小学校	4 年 4 年	中川 結芽 中川 結桜
ひ災した時トイレが使えなかったらどうする?	白山市立北陽小学校	4 年	殿田 紗弓
グラスジェムコーンのカラフルな実の色のなぞ②	金沢市立小立野小学校	4 年	齊木 香帆
豆苗のヒミツ ～水をすうのと元気は関係あるのか?～	金沢市立木曳野小学校	4 年	杉原 慶至
牛にゅうからできる! カゼインプラスチックのせいしつ調べ	金沢市立長坂台小学校	4 年	野村 暁史
ボールのひみつ	かほく市立宇ノ気小学校	4 年	倉 ころこ
あさくん顔見せて! Part 4 ～つるの「まきつき」指れいは、どこから?～	羽咋市立粟ノ保小学校	4 年	小網凜太郎
ヒマワリはどの部分で太陽を感じて動くのか	七尾市立田鶴浜小学校	4 年	圓山 遥乃
紙の吸収力を調べよう	能登町立宇出津小学校	4 年	林 しゅう
地震後の寺家の海岸調査	珠洲市立みさき小学校	4 年	多田 百花
～今年の課題は迷路です!～ ニホンイシガメの学習能力 パート 2	小松市立第一小学校	5 年	森 葉乃香

しゃぼん玉の液に何をいれると大きくふくらみやすくなるの？	白山市立松南小学校	5 年	長田 わかな
大活やく！！ アルミニウム	野々市市立野々市小学校	5 年	澤村 昊武
バッタのだっぴ Part 4 ～バッタが見ている色はどんな色～	金沢市立小坂小学校	5 年	大磯 駿
飛べ！！ ほくの飛行機 5	金沢市立杜の里小学校	5 年	宮野 陽向
どんな紙飛行機が遠くまで飛ぶのかな？	金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属小学校	5 年	吉崎 朋輝
音のひみつ	かほく市立高松小学校	5 年 2 年	竹田 逞人 竹田 拳士
守れ！オイラの洋服 ～加工でばく汁よごれを防ぐ～	羽咋市立瑞穂小学校	5 年	村田 佳紀
雑草	能登町立柳田小学校	5 年	西尾 亜海
めざせ水道！	珠洲市立若山小学校	5 年	石尾 直己
～防災用ポリタンクの水を一定の量で出し続けるには～			
標高 100 m の差とは？	能美市立宮竹小学校	6 年	中川 優依
～大口町と岩内町の毎日の気温測定から～		6 年	本山 優花
ダンゴムシの生態	能美市立福岡小学校	6 年	亀倉 悠可
どうしてボールは はね返るのか？	白山市立蝶屋小学校	6 年	福富 千種
ギフチョウとナミアゲハについて	野々市市立館野小学校	6 年	片桐 叶瑛
静電気ってどんな電気？（電池を作ろうパート 3）	金沢市立泉小学校	6 年	福田 帆乃香
おいしい水ってどんな水？ part 4 ～湧き水のゆくえ～	金沢市立浅野川小学校	6 年	宮前 凜実
素材による編み生地の保温性、速乾性、撥水性のちがい	金沢市立大徳小学校	6 年	伊藤 奏
～冬に適した素材の検証～			
地震による隆起とその調査 ～能登の今を探る～	金沢市立押野小学校	6 年	岡田 樹奈
魚的思考 エサが落ちる前に集まる理由	金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属小学校	6 年	木場 瑛
続・ごはんの甘さのひみつ ～糶の働きについて研究～	津幡町立中条小学校	6 年	越野 有咲
ダンゴムシめいろ Part 4	羽咋市立羽咋小学校	6 年	森田 樹生
～ダンゴムシのめいろのひみつを探ろう！～			
光る魚へ 鰻目放送局	七尾市立能登島小学校	6 年	坂本 雄一
風鈴を鳴らそう	穴水町立穴水小学校	6 年	池田 陽花
色をぬすんだ犯人はだれ？	能登町立松波小学校	6 年	井口 桜華
シャーベットの研究	石川県立ろう学校	6 年	中村 美月

中学校の部

小松の水調べ ～小松の水で植物を育てる 2024～	小松市立松陽中学校	1 年	吉川 芽依
ザリガニ博士になろう Part 5 ～ザリガニの視覚について～	小松市立中海中学校	1 年	面 雄二郎
環境にやさしいプラスチック	能美市立根上中学校	1 年	荒木 心月
「牛乳から作るカゼインプラスチック」			
雑草と土壌の pH の関係について	金沢市立城南中学校	1 年	吉川 景祐
豆腐の堅さとその要因 木綿豆腐 vs 堅豆腐	金沢大学人間社会学域	1 年	林 結理乃
～白峰堅豆腐 100 年フード認定記念～	学校教育学類附属中学校		
鉄釘の「錆（さび）」の研究	津幡町立津幡中学校	1 年 1 年	寺田 樺生 寺田 桜生
音の研究 お姉ちゃんにメッセージ届けたい ～わたしの挑戦～	内灘町立内灘中学校	1 年	岸本 結梨香
「僕と弟の味覚の違い」 PH に着目して ～2 年間の変化～	内灘町立内灘中学校	1 年	櫻井 陽太
色んなペットボトルでランタンを作って明るさを調べよう！！	かほく市立河北台中学校	1 年	黒岩 叶和
綺麗な紙ふぶきを作ろう	かほく市立宇ノ気中学校	1 年	山森 麻耶

三味線はなぜ大きい音が出るの？ 三味線を作って調べよう！	かほく市立宇ノ気中学校	1年	倉 まこと
カブトムシの研究 ～幼虫の大きさと成長する速度の関係について～	小松市立丸内中学校	2年	中谷 紫音
カビを育てる 4 ～カビから薬を作ろう！～	白山市立松任中学校	2年	安藤 千紘
手取川のプランクトンとプランクトンが好きな液体 ～パートⅡ～	金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属中学校	2年	上村優紀美
りんごの酸化について	金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属中学校	2年	笹原里佳子
SDGsを考えたストローを作るには ～環境に優しく飲みやすい生分解性プラスチックストロー～	金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属中学校	2年	石田 望渚
ダイラタンシーはSDGsに役立つのか??!	羽咋市立羽咋中学校	2年	安中 詩恵
豆腐の謎に迫る! ～みそ汁がおいしそうに見える理由～	輪島市立東陽中学校	2年	松本 愛未
ジェンガの秘密	珠洲市立緑丘中学校	2年	上田 朱夏
ゾウリムシはどのような条件で増殖するのか	珠洲市立緑丘中学校	2年	小町 一嘉
「すごいぞ納豆パワー」パート4 ～乳酸菌との共生～	金沢市立紫錦台中学校	3年	岡田 実樹
鳴き砂の研究 Part 3	金沢市立兼六中学校	3年	横澤 良輔
尿素の結晶 Part 2 ～大きくきれいな結晶を作るためにできること～	金沢市立兼六中学校	3年	松浦 真
モリアオガエルの研究 パート7 ～能登半島地震に負けず、モリアオガエルの産卵は行われるのか?～ ～あわに包まれていない卵でもオタマジャクシになる(ふ化する)のか～	能登町立柳田中学校	3年	仲谷 胡春

高等学校の部

手取川河川敷及び流域の昆虫の生息調査	石川県立野々市明倫高等学校	1年	畑中 良樹
アメリカザリガニ由来のキチンナノファイバーの特性	石川県立金沢泉丘高等学校 3年 竹内日向大 内田 大煌 恩地 諒太 寺井 悠人 松下 愛		
カタツムリの歩行可能条件について	石川県立金沢泉丘高等学校 3年 上見 修矢 杉岡 尚弥 竹本 和弘 田中 光 中山この葉		
ジャイロモノレールの角運動量変化による速度と安定性への影響	石川県立金沢泉丘高等学校 3年 高田 瑛太 窪田 成剛 小滝 広翔 佐藤 颯真 浜田 涼平		
タフリナ菌がシロイヌナズナに与える影響	石川県立金沢泉丘高等学校 3年 岩橋 巧真 岩原 彰星 折坂 千晴 北本和之輔		
千里浜における効率の良い消波ブロックの形の研究	石川県立金沢泉丘高等学校 3年 葭谷 悠叶 大林 昂聖 永井 希 野口 和矢 松見 幸弥		
文字と文章の読みやすさに関する条件	石川県立金沢泉丘高等学校 3年 山田 智仁 浅野さくら 杉本 佳大 高島 遼 寺井 啓人		
容器口の加工が液だれに及ぼす効果	石川県立金沢泉丘高等学校 3年 元村 彩乃 北野 陽都 小杉啓太郎 中島 慶亮 山田 璃子		
ルミノール反応における実験条件と発光照度の相関	石川県立金沢泉丘高等学校 3年 田川 温基 猪股 蒼 北 和真 左傳 貴一 吉田 昊正		

□ 入賞作品数

	小 学 校	中 学 校	高等学校	計
石 川 県 知 事 賞	1	1		2
石 川 県 議 会 議 長 賞	1	1		2
石 川 県 教 育 委 員 会 賞	1	1		2
石川県科学教育振興会長賞	1	1		2
優 秀 賞	15	5		20
優 良 賞	58	24	9	91
計	77	33	9	119

県 審 査 の 講 評

1 小 学 校

低学年では、日常生活や遊びの中で気づいたこと、不思議に思ったことを、観察・実験で確かめる作品が多く見られた。豊かな自然体験や動植物との触れ合い、粘り強い観察記録など熱心に研究に取り組む姿勢が感じられた。

1年生「にほんで1つだけのくるまがはしれるすなはまはなにがスペシャルなの？」は、千里浜の砂浜に興味を持ち、低学年らしい視点で実験を行っている。砂の粒の大きさやしめり気に着目して、複数の実験の結果を内灘の砂浜と比べ、結論を導き出している。研究を通して生まれた新たな疑問もあり、今後の発展が楽しみな作品である。

2年生「たんぽぽのわたげーどんなじょうけんだとめが出るかなー」は、たんぽぽがコンクリートの狭い隙間から生えている様子から、たんぽぽの発芽に興味を持ち、研究を行っている。様々な条件のもとで発芽の実験を行い、写真と言葉で変化の様子を丁寧に記録している。研究を通して、厳しい条件で発芽するたんぽぽから自然の素晴らしさにも気付いている作品である。

中学年では、理科の学習や日常生活の体験から見つけた疑問について、試行錯誤しながら研究を進めている作品が多く見られた。継続研究は力作が多く、観察・実験が数ヶ月に及ぶものもあり、時間をかけて根気強く取り組んでいる様子は非常に好感が持てる。知りたい、調べたいという思いが作品を通して伝わってきた。

3年生「音のふしぎー声で広がるしんどうの世界ー」は、歌声が物を震わせる様子から見つけた様々な疑問に対して工夫しながら実験を行っている。予備実験を行い適切な条件設定をしたり、複数の実験結果から共通点について分析したりすることを通して、音の高さと物の震え方の関係や振動を与える素材と物の震え方

の関係について粘り強く追究している。

4年生「しぶ柿があまくなるひみつータンニン変身のわけー2年目」は、昨年度からの継続研究である。今年度はタンニンが変身するまでの過程に着目し、変身の秘密を解明することを目的としている。仮説を立て、観察・実験し、結果の考察・検証から新たな仮説が生まれるという研究過程を繰り返し、徐々に結論に近づいている。研究の目的が明確で一貫性があり、丁寧に追究を積み重ねた作品である。

高学年では、身近なものから興味を抱いて取り組んだ研究や数年前からの継続研究が多くあった。また、理科で学んだ条件制御を意識して研究を進めたり、実験を通して生まれた新たな疑問からさらに実験を行い検証したりしている作品もあり、今後も探究心を持ち続け挑戦を重ねてほしいと思う。

5年生「おいしくしたい！わたしのお茶ー緑茶と加賀棒ほうじ茶のいれ方研究ー」は、家庭科の調理実習で初めてお茶を入れた時のおいしいお茶を入れたいという思いがテーマ設定の理由となっている。おいしさには個人差が大きいことに気付き、おいしさの判断基準について6つの視点を5段階で数値化し、独自の「おいしいお茶の評価シート」を作成し、検証することでできるだけ客観性を高めようと工夫している。また、条件制御された実験結果をグラフと表に丁寧にまとめたり、説得力がある作品になっている。

6年生「まだある子葉の知らないこと」は、昨年度の研究の際に、興味を持った子葉について研究を行った作品である。ダイコン、ヒマワリ、アサガオ、インゲンマメについて、子葉の大きさの変化、寿命、開き方などの複数の観点に着目し、観察・実験を行った。それぞれの結果の考察から、子葉の大きさの変化は4つのタイプに分類できることや、子葉の寿命は土に触れないことと関係があることを結論づけている。粘り強く丁寧に観察し記録を取る中で、疑問や不思議に気

づく力が養われていることが感じられる作品である。

全体として、子どもらしい発想で日常生活の中での気付きをもとに動植物の生態に関心を持ち、根気強く観察記録を取った結果から、分かったことや考えたことをまとめた作品が多くあった。身近な自然事象から不思議や疑問に思ったことに対して、自分なりの予想を持ち、適切な実験方法を考え検証し、結果を図や表、グラフなどにわかりやすくまとめたところが素晴らしい。

時間をかけて研究に取り組む際には、新たな知見が得られたり、思いがけない結論に至ったりすることもある。そのような場合には、目的に立ち返り研究の方向性を見直したり軌道修正したりすることも必要である。設定した目的や疑問に対する答えを明確に意識しながら研究を進めることで一層研究が深まると思われる。

2 中学校

物理分野では、9作品の審査を行った。身近な現象への疑問や研究対象への強い思いが感じられる作品、熱意を持って長期間にわたり研究を続けた作品が多く見られた。

「もしも私が金沢城穴太衆の棟梁だったら ～城郭石垣の地震時安定性に関する実験的研究～」では、野外調査、文献調査を実施した上で、地震に強い石垣の立地条件や構造について研究している。実験では、勾配や栗石の幅に着目して考案した構造と、戦国時代に積まれた石垣の構造をモデル化し比較している。複数の調査やオリジナルの実験方法の考案など、多面的なものの考え方や独創性がうかがえる。また、研究全体について、科学的な手順で丁寧にまとめられていた。

「地震に強い7階の建物とは Part 7」では、昨年度までの研究で課題としてあがった縦揺れの地震に強い7階建ての建物の構造について研究している。縦方向の振り子、ばね、クッションマットを組み合わせた数多くの構造のモデルを作成し、実験を繰り返している。多くの実験を行ったためデータ量が多くなったが、作品全体の構成に気を配り、わかりやすく表現していた。また、時間をかけて考察を着実に積み重ねており、完成度の高い作品であった。

グラフ等を用いて実験データを表すなどわかりやすくまとめようとする作品が見られた一方、データの読み取りや考察、表現については改善の余地がある。実験結果から考察を丁寧に行い、結論を意識して作品をまとめ、表現についても工夫することで、説得力のある作品にするよう取り組んでほしい。

化学分野では、9作品の審査を行った。食品や生活用品などに着目し、日常生活の中で感じた疑問を出発点に、研究に取り組んだ作品が多く見られた。

「ビタミンC最強献立をつくろう うがい薬を用いたビタミンCの実験」は、ビタミンCを多く含む献立の考案を目的に、うがい薬という身近な溶液を用いて、様々な素材に含まれるビタミンCの含有量を求めている。

溶液の色の変化を比較することによりビタミンCの量を求めることができる対応表を自分でつくり、それを用いて測定している。仮説を立てながら様々な検証をし、まとめとして、献立作りという日常生活に役立つ事柄につなげることができた。

高度な専門機器を使わずとも、現象を把握し、ある程度の定量性を持って議論している研究がある一方で、既知の現象や機構をもとにした研究では、調査不足を感じたものもあった。自分が知りたいと思ったことに対して、あきらめずに追究していく姿勢を大切にしてほしい。

生物分野では、13作品の審査を行った。生き物への興味を強く感じられる作品が多く見られた。このまま興味を原動力に追究を続けてほしい。また、長い年月をかけた研究もあり、作者の成長を感じさせる作品が印象的であった。

「スイカのふしぎな『ひげすじ』Part 6 ～『ひげすじ』基準で紫外線対策からフードロスまで～」では、スイカを横方向に切ったときの断面に見られる模様を「ひげすじ」と命名し、この「ひげすじ」の正体を明らかにするために研究を進めている。「ひげすじ」の正体を探るため、仮説を立てた上で実験を進め、専門家でも分かっていないことを追究しようとする姿勢が大変素晴らしい。

一方で、いろいろなことをつめこみすぎている作品も見られた。研究の目的、実験、結果を、もっとシンプルなストーリーでつなげることで、研究をうまくまとめることができる。また、過去の研究については、もっとシンプルに扱い、今年取り組んだ部分をもっと分かりやすくまとめるとよい。

地学分野では、2作品の審査を行った。どちらの作品も身近な地域の土壤に着目し、実験を行っている。

地学分野では、フィールドワークが必要だったり、観察・実験が行いにくかったりするなど、調査研究に時間や手間暇のかかるものが多く、例年作品数が少ない傾向にある。地球そのものが引き起こす身近な現象に目を向け、疑問に思ったことをもとに、ぜひ研究に取り組んでほしい。

全体として、知りたいことを探究しようとする熱量を感じる作品が多く、多面的に実験し、膨大なデータを記録している研究がいくつもあった。また、コンピュータを活用してデータを整理する作品も増えてきている。一方で、研究の目的に対して実験結果をうまくまとめきれない作品もあった。実験やその結果を精査したり、見せ方を工夫したりするなど、結論を目的に合わせてまとめる力も身につけてほしい。

3 高等学校

今年度は9作品の審査を行った。テーマ設定を丁寧にいき研究が進められている作品が多く見られたが、実験や調査について詳しい記述がない作品もあった。データの解析や考察と合わせて内容の充実を期待する。